

ロボット支援下手術および腹腔鏡下手術を施行された患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「当院でのロボット支援下手術における合併症の検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、ロボット支援下手術を施行した患者さんの術中および術後の結果を調べて、周術期合併症がどの程度発生したかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年1月1日より2024年3月31日までに治療した方の診療録、検査データ、手術記録の調査を行います。対象となるのはロボット支援下手術および腹腔鏡下手術で子宮全摘術または仙骨脛固定術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（手術方法、有害事象）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年12月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)